

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査 鴻巣市の結果の概要【中学校】

## 1 鴻巣市と埼玉県・全国との正答率比較

	国 語	数 学
鴻巣市	59	52
埼玉県	59	53
全 国	58.1	52.5

## 2 中学校各教科の領域・区分等について

国語	「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国・県平均を上回っています。 「情報の扱い方に関する事項」は、全国・県平均を下回っています。 「我が国の言語文化に関する事項」は、全国・県平均を上回っています。 「話すこと・聞くこと」は、全国平均を上回り、県平均を下回っています。 「書くこと」は、全国・県平均を上回っています。 「読むこと」は、全国平均を上回り、県平均を下回っています。
数学	「数と式」は、全国・県平均を下回っています。 「図形」は、全国・県平均を上回っています。 「関数」は、全国・県平均を下回っています。 「データの活用」は、全国・県平均を下回っています。

## 3 質問紙調査から（一部抜粋）当てはまる・どちらかといえば当てはまるを選んだ生徒の割合

質問事項	鴻巣市	埼玉県	(差)	全 国	(差)
将来の夢や目標を持っていますか	70	68	+2	66.3	+3.7
学校に行くのは楽しいと思いますか	89.3	85.4	+3.9	83.8	+5.5
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	80.8	78.1	+2.7	76.2	+4.6
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	78.4	75.4	+3	76.1	+2.3
1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	83.5	83.6	-0.1	80.9	+2.6
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	90.8	88.7	+2.1	86.1	+4.7
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	96.6	94	+2.6	91.7	+4.9
国語の勉強は大切だと思いますか	95.2	94.6	+0.6	93.9	+1.3
数学の勉強は大切だと思いますか	87.9	87.2	+0.7	87.2	+0.7

## 4 学習指導改善のための今後の方策

各学校の実情に応じて、以下の取組を推進してまいります。

### 【鴻巣市学習指導の重点】

- 適切な課題を設定し、児童生徒が見通しをもって学習するとともに、学んだことを自分の言葉で表現するなど、一人一人が学習の成果を振り返ることができる授業を展開していきます。
- 学習課題について一人一人が考える時間を十分に確保し、自分の考えをもって他者と交流することで、考えを深めていくことができる授業を展開していきます。
- 学んだことが確実に定着するよう、授業の中でまとめの練習問題に取り組むとともに、新たな課題を見付けたり、日常生活に活用したりできる授業を展開していきます。

### 【各教科における指導方法の改善】 <国語>

#### ○〔言葉の特徴や使い方に関する事項〕

##### <重点：文の成分の順序や照応について理解する>

- ・日本語は、文の成分の順序が比較的柔軟であるという特徴をもちます。このことを踏まえ、語順の違いによって表現がどのように変わってくるかを、様々な文型について考え、理解することができるよう指導することが必要です。その際、文の成分の順序や照応などの文の構成について着目させることが重要です。例えば、読み手の立場に立って自分が書いた文章を推敲する機会などを捉えて、文の成分の順序や照応に注目して文章を読み直し、分かりやすい文章に整えていくなどの学習活動が考えられます。その際、これまでに学習した、主語と述語との関係、修飾語と被修飾語との関係などの知識を活用することができるよう指導していきます。

#### ○〔情報の扱い方に関する事項〕

##### <重点：意見と根拠など情報と情報との関係について理解する>

- ・相手の考えを理解したり自分の思いや考えを表現したりするためには、原因と結果、意見と根拠など、話や文章に含まれている情報と情報との関係について理解することが重要です。その際、意見とそれを支える根拠がどのように結び付いているかを捉えたり、整理したりすることができるように指導することが大切です。例えば、話題を決めて互いの考えを伝えるなどして話し合う際に、意見とそれを支える根拠を示して発言することができているかなど、発言を振り返る学習活動を位置付けることが考えられます。その際、具体的な発言を取り上げ、どの部分が意見でどの部分が根拠なのかを確かめたり、示した根拠が意見を支えるものになっているかを確かめたりするなど、情報と情報との関係を捉えることができるよう指導していきます。

#### ○〔我が国の言語文化に関する事項〕

##### <重点：行書の特徴を理解している>

- ・直線的な点画で構成されている漢字を行書で書く際には、点や画の形が丸みを帯びる場合があること、点や画の方向及び止め・はね・払いの形が変わる場合があること、点や画が連続したり省略されたりする場合があること、筆順が変わる場合があることなどといった行書の特徴を理解して書く必要があります。その際、楷書で書いた漢字と比較するなど、これまで学習してきたことを踏まえて指導していきます。

#### ○〔話すこと・聞くこと〕

##### <重点：必要に応じて質問しながら話の内容を捉える>

- ・質問する際には、話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することが重要です。例えば、実際に話合いをする学習において、目的や状況に応じた質問になっているかを検討したり振り返ったりするような学習活動を位置付けることが考えられます。その際、質問の意図が明確であったか、質問の意図が聞き手に伝わったか、質問が話合いの話題に沿っていたかなどについて、質問を具体的に取り上げて検討できるように指導していきます。

#### ○〔書くこと〕

##### <重点：目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする>

- ・物語を創作する際には、目的や意図に応じて題材を決め、伝えたいことを考えながら、書くための材料を集める必要があります。そのうえで、伝えたいことが明確になるように、材料を比較しながら取捨選択したり、関係付けをしてまとめたりするなど、集めた材料を整理することが大切です。例えば、物語を書くために集めた材料を、構想を練りながら整理する学習活動が考えられます。物語を通して伝えたいことや、登場人物や状況の設定など、物語を書くために

考えなければならないことを出し合い、それらを観点として集めた材料を整理するなど、自分がこれから書こうとする物語の構想を具体化できるように指導していきます。

### ○〔読むこと〕

＜重点：文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉える＞

- ・説明的な文章において主張と例示との関係を捉える際には、各段落が文章全体の中で果たす役割について捉え、それが書き手の考えを伝える上でどのような効果をもたらしているかなどを考えながら読むことが大切です。その際、どのような具体例が示されているか、それはどの主張を支えるために示されているかなどを確認したうえで、文章の構成や展開と結び付けて説明することができるように指導していきます。

## 【各教科における指導方法の改善】＜数学＞

### ○〔数と式〕

＜重点：目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する＞

- ・事柄が一般的に成り立つ理由を、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにして説明できるように指導することが大切です。学力調査の設問を使って授業を行う際には、「□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍になる」ことを説明するために、□に入る整数の和を表した式を $2 \times$ （○に入れた整数の和）の形にすればよいという見通しをもち、それに沿って式を変形する場面を設定するなどして、指導していきます。

### ○〔図形〕

＜重点：筋道を立てて考え、証明する＞

- ・事柄が成り立つことを証明できるようにするためには、証明の方針を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現できるように指導することが大切です。対応する辺や角の大きさについて分かることを整理したり、合同を示すために必要な関係を見いだしたりする場面を設定するなどして、指導していきます。

### ○〔関数〕

＜重点：事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する＞

- ・様々な問題を数学を用いて解決できるようにするために、問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする活動を取り入れることが大切です。その際、数学を活用する方法を説明できるように指導していきます。

### ○〔データの活用〕

＜重点：複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較する＞

- ・複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取る活動を通して、四分位範囲の必要性和意味を理解できるように指導することが大切です。その際、四分位範囲はデータの散らばりの度合いを表す指標であり、第3四分位数と第1四分位数の差で求められることを確認することが大切です。また、極端にかけ離れた値が一つでもあると、最大値や最小値は大きく変化し、範囲はその影響を受けやすいが、四分位範囲はその影響をほとんど受けないという性質を確認する等、指導していきます。